

平成28年度大阪市立図書館の目標について

基本目標：

「いつでも、どこでも、だれもが課題解決に必要な情報にアクセス可能な“知識創造型図書館”」を基盤とし、さらなる発展と再構築をめざす。

図書館が、地域の情報活用基盤として調査相談機能の高度化や、電子図書館機能の周知などにより市民の利用を促進し、誰もがいつでも情報や知識を活用して創造性・生産性を高めることができるように支援する。また、地域の多種多様な課題解決に向けた情報収集・学習拠点として、学校をはじめとして、区役所等地域施設、団体など多様なセクターを支援する。

成果目標

図書館への来館者数と図書館ホームページ(トップページ)アクセス件数の合計数を前年度より増加させる

業績目標

市立図書館における商用データベースや電子書籍等の電子図書館機能について、広報や活用講座等の開催を通じて認知度をアップさせ、総アクセス件数22万件以上をめざす

図書館や幼稚園・保育所、高齢者福祉施設で活動する読書活動支援ボランティア数2,500名を維持し、ステップアップ講座を継続して実施するとともに、情報交換や連携が進むよう、すべての区で交流会や情報交換会を実施する

小・中学校における調べ学習や一斉読書等のために、市立図書館から学校への貸出冊数を85,000冊以上とするとともに調べ学習支援など学校への支援を拡充する
全市立小・中学校の学校図書館に配置した補助員の資質向上を図るとともに、昼休みや放課後等を活用して開館回数を週当たり各校7回以上に増加させる

1. 知識を創造する図書館へ

図書館を地域の総合的な知識情報活用基盤として、その利用条件を整備する地域の情報拠点化施策の推進

取組項目	具体的取組	指標・目標値
レファレンス（調査相談）・情報サービス・情報発信機能の拡充 課題解決支援（情報検索支援）	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス講座の充実 ・OMLIS（利用者用検索端末）使い方講座の開催 ・国立国会図書館レファレンス協同データベース事業へのレファレンス事例公開 ・メールレファレンスの利用促進 ・横断検索（他機関の所蔵一括検索）の利用促進 ・ディスカバリーサービス（各種データベースの一括検索）の利用促進 ・ホームページ「おおさか資料室」の拡充 ・「思い出のこし」事業の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス講座開催件数維持 ・使い方講座の継続開催 ・レファレンス公開件数の増 ・レファレンス事例アクセス件数の増 ・メールレファレンス受信件数増 ・横断検索のアクセス件数増 ・OMLINサーチのアクセス件数増 ・「おおさか資料室」アクセス件数の増 ・「思い出のこし」事業の全館実施
電子図書館機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・商用データベースの利用促進 ・電子書籍の利用促進 ・デジタルアーカイブの利用促進 ・大量移管資料等のデジタル化による公開 ・デジタル情報の利活用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・商用データベースアクセス件数増 ・電子書籍アクセス件数増 ・デジタルアーカイブのアクセス件数増 ・デジタル資料の公開点数の増 ・著作権の消滅したデジタル画像のオープンデータ化検討開始
	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽配信サービス（ナクソス・ミュージック・ライブラリー）などの利用促進 ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽配信サービスアクセス件数増 ・国立国会図書館歴史的音源提供サービスのアクセス件数増 ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービス利用件数増
図書館資料の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・図書・資料予算削減に伴う、タイトル数確保に向けた方策検討 ・寄贈資料の大口募集と受け入れ促進 ・参考図書や基本図書など市民の課題解決に役立つ資料を継続して収集 ・地域資料を収集・整理して提供・保存 ・調べ学習や読書活動支援のための図書の充実 ・図書目録情報の計画的データ整備 ・貴重書庫資料の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度受け入れタイトル数9割以上を確保（地域図書館単独本の増、寄贈資料受け入れタイトル数の増） ・参考図書の冊数増 ・地域資料の冊数増 ・学校支援用図書の蔵書増 ・外国語資料のデータ選及整備 ・重要文化財指定資料の書誌再編成と修理保存計画の策定
多文化サービスの展開	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と協働しての外国語を母語とする子どもたちが参加できる企画事業の実施 ・日本語に習熟していない人のための「やさしいにほんご」のページの充実 ・やさしいにほんごモードのOPACの広報・周知 ・外国語資料、外国語資料ページの充実 ・ハンブルク市図書館との図書交換の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の絵本展開催 ・やさしいにほんごモードOPACのアクセス件数増 ・外国語資料の蔵書増 ・図書交換の継続実施
市民への広報の拡充（利用の促進）	<ul style="list-style-type: none"> ・広報媒体の効果的活用 ・メールマガジンの内容豊富化と利用促進 ・SNSを使った情報発信の拡大 ・「新着お知らせメール」など情報提供の拡大 ・FaceBookページの開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者数の増 ・メールマガジン登録者数増 ・ツイッターの発信件数増 ・「新着お知らせメール」利用者数増

2. 心を育て、人をつなぐ図書館へ

図書館を各区の子どもの読書相談支援センターとして、子どもの読書推進施策の企画、地域や市民との連携事業の企画調整

取組項目	具体的取組	指標・目標値
子ども読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「第2次大阪市子ども読書活動推進計画」の推進 ・「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」の定例開催
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ「こどものページ」・「子どもにすすめる本」ページの内容豊富化 ・子どもに対するとしょかんポイント活用による読書推進の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「こどものページ」のアクセス件数の増 ・「子どもにすすめる本」のページのアクセス件数の増 ・としょかんポイント参加者数の増 ・0～12歳の貸出冊数の増
	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤング層の利用を増やすための各種催しや企画展の開催 ・学校図書館支援等読書普及にかかる中学校等との連携強化 ・ホームページ「ティーンズのページ」等の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤング層向きの催しや企画展等の実施 ・13～19歳の貸出冊数の増 ・中学生、高校生の図書館見学、職場体験学習の受入等、連携事業件数増 ・中学校等への職員、ボランティア派遣件数増 ・「ティーンズのページ」のアクセス数増 ・「書評漫オグラプリ」及び「リーディのページ」アクセス件数の増
障がい児(者)サービスの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・L Lブックの充実整備と利用促進 ・マルチメディアデジ資料の充実と利用促進 ・視覚障がい者への資料提供充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・所蔵点数の増 ・講座の開催 ・国立国会図書館の「視覚障がい者用データの収集及び送信サービス」への参加
市民協働の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座の開催 ・ボランティア間の情報交換等交流の場の拡大 ・ボランティア協働ポータル専用ページの開設 ・子育て支援施設や高齢者福祉施設と連携し、幼児期・高齢者読書環境整備事業の一層の周知と継続実施 ・各区における絵本展開催支援 ・市民協働事業OneBookOneOSAKAの継続・拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録ボランティア2400～2500人継続維持 ・ステップアップ講座を2講座以上実施 ・全区でのボランティア交流会および情報交換会の実施 ・ボランティア専用ログインページの開設 ・貸出冊数の前年度比増 ・ボランティア派遣件数維持 ・絵本展開催に向けた支援件数の増 ・OneBookOneOSAKA関連イベントの実施

3. 学校図書館の活性化支援

学校図書館活用推進事業の実施
図書の特貸出等学校への支援・協力

取組項目	具体的取組	指標・目標値
学校への支援と連携拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館活用推進事業の推進 ・学校への団体貸出や調べ学習支援、学校図書館活性化事業支援 ・学校図書館活用推進事業のページの充実 ・ホームページ「学校支援のページ」の充実 ・学校園における一部商用データベースの活用支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館補助員の研修増 ・学校図書館の週当たり開館回数増（各校7回以上） ・学校図書館整備支援等への職員派遣件数増 ・団体貸出冊数の増 ・学校図書館活性化事業 各種ボランティア講座の開催 ・学校図書館活用推進事業ページのアクセス件数の増 ・学校支援のページアクセス件数増 ・図書館活用の手引更新 ・学校園からの商用データベースアクセス件数増

4. 効率的な運営体制の確立

効率的で効果的な図書館の管理運営の推進
関係機関との連携協力の推進

取組項目	具体的取組	指標・目標値
人材育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・司書の研修計画の再整備 ・司書の専門性向上と人材育成の充実に必要な研修等の実施 ・外部研修への司書の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修参加者数増 ・派遣件数維持
歳入財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな財源確保や運営費の節減を図るための図書館施設や広報物を利用したの広告事業への取り組み ・ふるさと寄附金の募集広報の強化・拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな広告事業の実現 ・ふるさと寄附金額の増→児童図書整備
図書館事業に関わる成果（アウトカム）の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱の設置と、主な意見に対する回答 ・利用者アンケートの実施 ・講習会・講座受講者アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種アンケートの実施 ・分析結果の公表
利用環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・より快適に図書館を利用していただけるよう、施設整備や案内表示の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi環境の拡充 ・中央図書館トイレ改修 ・案内板の更新 ・飲み物の利用緩和
セキュリティ対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティポリシーの強化 ・ホームページ利用等における安全性の強化（セキュリティ、脆弱性対策等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市セキュリティポリシー改訂に伴う内規の改正 ・脆弱性に係る適時対応
他機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館や府立図書館等他機関との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな連携策の検討・実施